

事業名 学習サポート事業

(名古屋市中学生の学習支援事業業務委託、名古屋市高校生の継続支援事業、知立市子どもの学習支援事業業務委託)

対象 生活に困難を抱えた家庭の中学生～高校生

事業内容

「学習」は、持続可能な社会をつくる力を養う取り組みのひとつです。生活に困難を抱えた家庭の子どもに学ぶ権利を保障することは、社会参画の第一歩でもあります。この事業では、子どもたちの進学意欲を高め、自立に向けた意欲の醸成や学習意欲の喚起を図ります。それと共に、居場所の提供を通じて生活習慣の形成や社会性の獲得を目指しています。週に1・2回の学習会で直接子どもたちと関わるのは、大学生や社会人など多様な人々です。子どもが安心できる場や人を育てながら、子どもの声を拾い上げ、社会につなげる事業運営をしていきます。

事業のポイント

- ・「わからない」「できない」「困った」を安心して表せる場である。
- ・子どもたちが定期的に通うことのできる場である。
- ・大学生や社会人など様々な立場の人と関わる機会がある。
- ・困りごとを解決するために、事業を通して必要な支援窓口につながるができる。
- ・子どもたち自身が置かれた場所で、主体的に場づくりに参加・参画できる。
- ・子どもたちが町の仕組みや取り組みに関心を持ち、よりよい地域や社会をつくる担い手となる。
- ・子どもたちが地域の人材や社会資源について知り、ひとりではできないことを他者の力を借りて実現できることに気づく。

こんな力を身につけてほしい：担当者の願い

- ・ありのままの自分を受けとめる力（自己肯定感）
- ・自分の内面を見つめる力
- ・自分の思いや気持ちを表現する力
- ・多様性を尊重する力
- ・相手の立場にたってものごとを考える力
- ・主体的に意思決定する力
- ・主体的に行動する力
- ・多様な人とつながり協働する力
- ・社会の一員として、社会に関わる力

エピソード

『「～したい」、に何度も何度も向き合うこと』

「漢字やり直したい！」と、ある中学生が突然宣言をしました。「お、やるか！よく言ったなー。」と伝えようと、「まあ、ここだったらやってもいいかなと思って。他のところで言うのは恥ずかしいから！」と恥ずかしげもなく素直に自分の気持ちが言えるようになっていました。

後日、「持ってきたぞー！！小学生の漢字が全部やり直せるテキストだ！」とスタッフがテキストを見せると、「え、やるの？俺そんなこと言ったっけ。」との発言。数日前に言ったことを忘れていたのでしょうか。

「いや、だって前回自分がやり直す、って言ったよ？だから持ってきたよ。言い出したことはすごいことだと思うし、本当に自分に必要なことが自分でわかっているってことだと思う。だから一緒にやってみようよ。」と、理解と納得を引き出していきます。「はあ、やる気にさせるのが上手いな！やるわ！」ちゃんと説明をすると、納得と行動が伴っていくものです。

実際にやってみると、やはりできないところもあります。解けたところには丸をつけていきますが、解けなかったところは空白のままです。

「はい、今日の分は終わったー」

「おーいいじゃんか。丸がつくねー。よっしゃ。ん、待て待て。空欄のところはどうするの。」

「まあいいのいいの。大丈夫」

「大丈夫ちゃうやろー。」

自分の今やっていることと、気持ちがつながっていないことも多いのです。

「んー、読めなかったり書けなかったところを丸つけせず空欄にしちゃってるわけだけど、どうしていくかなあ。読める書けるところだけやってくことにする？どうしようか。」

「んー—————！！！！」自分の言っていることに気づき、面倒くさそうな表情でスタッフを見ました。

子どもたちは、本来の目的を対話の中で思い出したり、納得していくのです。この時も、読めなかった漢字・書けなかった漢字を、答えを見ながら彼なりに覚えていきました。その間にスタッフが他の紙に分からなかった問題を書き出しておき、彼のタイミングで、自分で、もう一度チャレンジしてみるのです。ものの数分でほぼ全てが読める・書けるようになっていきます。彼はそれを体感するのです。

彼はこうして、自分が初めに言い出したことを達成していくことや、やり抜くことを知ったり、目的に向けて自分が望めば誰かが手助けしてくれることを知ったり、どうやったらできる・わかるようになっていくのかを知ったり、自分はやればできるんだと感ずることができたり…たった一冊の漢字のテキストだけで様々なことが得られるのです。

まだまだ、彼の小学校の漢字テキストをやり直す取り組みは続いていきます。どうしても手につかない日もあります。でもそれでいいのです。いつかまた思い出す時がきます。

こちらが毎回働きかけてやれる、という日々でなくて、自分から学習会に来たらこれから始めるのだと自主的になれるのが次のステップです。